

平成 23 年度
福島市民の健康と生活習慣調査報告書【概要版】
福島市民の健康と生活習慣調査報告書（震災後の変化）【概要版】

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

市民の健康と生活習慣状況、ニーズを把握するとともに東日本大震災後の影響を把握し次期福島市健康増進計画に反映すること、また、「新ふくしまし健康づくりプラン 2006」の目標達成状況を評価し数値目標の見直しと今後の健康指標の設定を行うこと、「福島市食育推進計画」における評価指標の現状把握を目的に実施した。

2. 調査の実施主体

福島市健康福祉部健康推進課
 福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座

3. 調査対象・方法・時期

(1) 健康と生活習慣調査＜一般＞

対 象	18～84 歳（追跡対象者を除く）
抽出方法	地区の年齢階層の人口を総人口の分布と類似するように按分した地区別抽出法に基づき、住民基本台帳から無作為抽出
調査方法等	（方法）郵送調査法 （時期）平成 23 年 10 月

(2) 健康と生活習慣調査＜追跡＞

対 象	平成 17 年度調査の回答者（一般分 24～84 歳）
抽出方法	対象者を各年齢層（5 歳階級）の人口分布と類似するように按分し、無作為抽出
調査方法等	（方法）郵送調査法 （時期）平成 23 年 10 月

(3) 健康と生活習慣調査＜学童・思春期＞

対 象	小学生・中学生・高校生
抽出方法	学校ごとに乱数表などを用いて学年組を抽出（全 83 校）
調査方法等	（方法）学校長宛てに配付依頼し、留め置き回収 （時期）平成 23 年 10 月

4. 調査項目

項 目	調査種別	
	＜ 一 般 ＞	＜ 学童・思春期 ＞
属 性	性別、年齢、家族数、勤務形態	性別、学年、家族数
身体状況	身長、体重	身長、体重（中学・高校生のみ）
受診状況	検診、既往歴、現病歴	
健康意識	健康観など	健康観（中学・高校生のみ）

生活習慣	栄養・食生活、身体活動・運動、 休養・こころの健康、歯の健康、 たばこ、アルコールなど	栄養・食生活、身体活動・運動、 休養・こころの健康、歯の健康、 たばこ、アルコールなど
【新】 食育関連	メタボ、食育の理解度、関心度、 地産地消の意識	
【新】 震災後変化	生活習慣の変化、悪化した生活 (食、運動、活動、休養)	現在の状況、食生活、運動・活動

調査項目は、平成 17 年度調査と比較するため同じ質問様式で実施したが、【新】の項目については、今回の調査において新たに内容を追加し調査した。

5. 回収状況

調査種別	<一 般>	<追 跡>	<学童・思春期>
対象者数	6,016	1,508	2,773
回収数	3,790	1,152	2,717
回収率	63.0%	76.4%	98.0%

第2章 調査結果 1 ～健康と生活習慣～

「新ふくしまし健康づくりプラン 2006」の分野別各項目において、評価指標とした項目の内容を主に抜粋し、今回の結果にあわせ前回調査（平成 17 年度福島市民の健康と生活習慣調査）の結果と比較した。記載本文中の「前回」とは平成 17 年度同調査のことを示す。

1. 属性

- (1) 家族数 同居家族の平均人数は、一般が 3.2 人（独居 10.7%）、学童が 4.7 人である。
- (2) 勤務形態
 - ① 「常勤」の人は 38.8%である。（前回 41.8%）
【性別】男性が 54.4%（前回 60.7%）で、女性が 25.8%（前回 25.5%）で男性が高い。
【年代】60～64 歳で 32.7%（前回 23.0%）である。
 - ② 「パート」の人は 11.9%である。「無職」の人は 43.0%である。

2. 健康観

健康群（非常に健康・まあ健康）は、一般対象者（以下一般）・学童思春期対象者（以下学童）ともに前回より増加した。

《一 般》

「非常に健康だと思う」人は 8.8%（前回 7.9%）、「まあ健康なほうだと思う」人は 70.8%（前回 69.0%）である。「あまり健康ではない」人は 14.6%（前回 14.0%）、「健康でない」人は 5.0%（前回 5.8%）である。「非常に健康だと思う」「まあ健康なほうだと思う」を合わせると、男性は 78.9%（前回 77.2%）、女性は 80.4%（前回 76.7%）である。

《学童思春期：中学・高校生》

「非常に健康だと思う」人は 23.1%（前回 20.9%）、「まあ健康なほうだと思う」人は 64.8%（前回 62.0%）である。「あまり健康ではない」人は 9.4%（前回 10.7%）、

「健康でない」人は0.9%（前回1.7%）である。「非常に健康だと思う」「まあ健康だと思う」を合わせると、男性は85.2%（前回81.8%）、女性90.9%（前回84.1%）である。

3. 体格 肥満度(BMI)判定（中学生はローレル指数）

一般は、肥満が2割以上を占め、男性が女性より高く、前回とほぼ変化がない傾向である。中学生は、普通が5割弱、やせが4割弱、高校生は、普通が7割、やせが2割弱である。高校生の肥満は、前回調査より減っている。

《一般》

「やせ(18.5未満)」は8.2%（前回8.2%）、「ふつう(18.5以上25未満)」は68.1%（前回69.2%）である。

「肥満(25以上)」は21.8%（前回21.1%）である。

肥満は、男性が26.8%（前回25.5%）、女性が17.7%（前回17.4%）で男性が高い。

《学童思春期：中学・高校生》

中学生は、「やせ」が36.9%（前回39.3%）「普通」が49.1%（前回45.9%）「肥満」が10.6%（前回8.8%）である。高校生は、「やせ」が18.5%（前回16.5%）「普通」が72.8%（前回70.5%）「肥満」が5.9%（前回9.6%）である。

4. 最近1年間の検診状況

一般対象者（18歳～84歳）の受診率は、全ての検診で前回調査より上がった。特に20代、30代の子宮がん検診、40～64歳の乳がん検診は、前回より受診率が8～10%上がった。

- (1) 「健康診断(血液検査・心電図・血液検査)」を受診した人は、76.4%（前回74.8%）である。男性が81.7%（前回80.6%）で、女性が72.0%（前回69.7%）で男性が高い。
- (2) 「胸部(結核・肺がん)検診(胸部エックス線検査)」を受診した人は、63.1%（前回62.1%）である。男性が67.1%（前回67.2%）で、女性が59.8%（前回57.7%）で男性が高い。
- (3) 「胃検診(胃透視・胃カメラ)」を受診した人は、44.7%（前回43.7%）である。男性が47.7%（前回48.1%）で、女性が42.2%（前回39.8%）で男性が高い。
- (4) 「大腸検診(便潜血検査・大腸カメラ)」を受診した人は、38.0%（前回35.0%）である。男性が39.5%（前回38.6%）で、女性が36.7%（前回31.8%）である。
- (5) 「骨粗しょう症検診」を受診した人は、12.3%（前回12.1%）である。男性が6.1%（前回5.1%）で、女性が17.6%（前回18.1%）である。
- (6) 「歯科検診」を受診した人は、35.3%（前回31.7%）である。男性が34.7%（前回30.0%）、女性が35.7%（前回33.2%）である。
- (7) 「子宮がん検診(内診・細胞診)」を受診した人は、31.7%（前回27.1%）である。20～39歳は32.4%（前回22.2%）、40～64歳は41.4%（前回37.8%）、65～84歳は19.7%（前回16.4%）である。
- (8) 「乳がん検診(触診・マンモグラフィ)」を受診した人は、27.3%（前回23.2%）である。20～39歳は12.0%（前回9.0%）、40～64歳は41.5%（前回33.6%）、65～84歳は21.4%（前回21.3%）である。
- (9) 「前立腺がん検診」を受診した人は、17.9%（前回は未調査）である。

40～64 歳、15.2%、65～84 歳 35.0%である。

5. 生活習慣病等の治療状況

一般の「糖尿病未治療・治療中断」は、7.7%で前回の6.9%より増加した。

- (1) 「脳卒中」に罹ったことがある人で、「治療中」が47.7%（前回55.8%）、「治療済」が30.3%（前回30.5%）、「未治療・中断」が2.8%（前回1.1%）である。
- (2) 「高血圧」にかかったことがある人で、「治療中」が86.0%（前回83.5%）、「治療済」が4.5%（前回6.3%）、「未治療・中断」が4.5%（前回4.6%）である。
- (3) 「狭心症・心筋梗塞」にかかったことがある人で、「治療中」が69.2%（前回64.8%）、「治療済」が16.4%（前回17.6%）、「未治療・中断」が4.1%（前回8.2%）である。
- (4) 「肝臓病」にかかったことがある人で、「治療中」が33.8%（前回34.3%）、「治療済」が40.1%（前回45.0%）、「未治療・中断」が12.7%（前回11.4%）である。
- (5) 「糖尿病」にかかったことがある人で、「治療中」が75.9%（前回76.6%）、「治療済」が3.5%（前回6.9%）、「未治療・中断」が7.7%（前回6.9%）である。
- (6) 「高脂血症」にかかったことがある人で、「治療中」が63.6%（前回54.9%）、「治療済」が7.1%（前回11.4%）、「未治療・中断」が21.2%（前回24.0%）である。
- (7) 「骨粗しょう症」にかかったことがある人で、「治療中」が59.8%（前回53.1%）、「治療済」が6.0%（前回6.9%）、「未治療・中断」が14.1%（前回19.4%）である。
- (8) 「がん」にかかったことがある人で、「治療中」が29.1%（前回35.1%）、「治療済」が59.9%（前回55.0%）、「未治療・中断」が2.5%（前回0%）である。
- (9) 「心や精神の病気」にかかったことがある人で、「治療中」が47.1%（前回51.5%）、「治療済」が26.8%（前回21.7%）、「未治療・中断」が15.6%（前回15.2%）である。
- (10) 「歯周病」にかかったことがある人で、「治療中」が25.7%、(22.3%)「治療済」が42.3%（前回48.7%）、「未治療・中断」が23.5%（22.8%）である。

6. 保有歯数

60～64 歳で20本歯がある人は、男女ともに前回よりも増加した。

《一般》

現在の平均保有歯本数は、24.0本（前回23.7本）である。

男性は24.0本（前回23.9本）で、女性は24.0本（前回23.6本）である。60～64歳で20本以上歯がある者の割合は、男性71.7%（前回62.5%）、女性74.5%（前回67.2%）である。

7. 健康維持の心がけ

一般で「ある」人は前回調査より増加した。運動をしている人は、男性は増加し女性は減少した。

《一般》

- (1) 健康を維持するために心がけていることが「ある」人は72.0%（前回65.9%）である。男性は69.0%（前回62.2%）、女性は74.5%（前回69.1%）で、女性が高い。

- (2) 全数のうち、健康を維持するために運動をしている人は、男性が61.5%（前回60.1%）、女性が47.0%（前回47.7%）で男性が高い

8. 運動

一般の「運動をしている人」「30分以上している人」は前回より増加した。学童は、「週2回以上運動している人」が減少し、「ほとんどしていない」が増加した。

(1) 普段の運動頻度

《一般》

「ほとんど毎日している」は16.8%（前回15.1%）「週に2～4回している」は20.5%（前回17.7%）である。「週に1回程度している」は16.0%（前回14.8%）「ほとんどしていない」は42.4%（前回43.3%）である。

《学童思春期》

「ほとんど毎日している」は25.0%（前回27.8%）「週に2～4回している」は18.1%（前回20.5%）である。「週に1回程度している」は16.5%（前回15.3%）「ほとんどしていない」は40.1%（前回36.0%）である。

(2) 一回の運動時間

《一般》

「15分未満」が11.1%（前回10.2%）、「15～30分未満」が27.2%（前回30.4%）である。「30分以上」が59.6%（前回57.0%）である。

9. 一日3食たべる

ほとんど毎日3食とる人は、一般、学童ともに増加した。食事を時々3食とる人、ほとんどとらない人は20歳代が多い。

《一般》

(1) 食事を「ほとんど毎日3食とる」人は、80.4%である。（前回76.2%）

【性別】男性が77.9%（前回74.2%）で、女性が82.5%（前回77.9%）である。

【年代】20歳代が最も低く63.2%（前回54.8%）、70歳代は最も高く89.2%（前回84.8%）である。

(2) 食事を「時々(週3～4回)3食とる」人は8.9%（前回8.4%）である。

【性別】男性が9.0%（前回8.6%）で、女性が8.9%（前回8.2%）である。

【年代】18・19歳が13.7%（前回23.8%）20歳代17.3%（前回20.2%）である。

(3) 食事を「ほとんど食べない」人は8.2%（前回9.0%）である。

【性別】男性が10.6%（前回11.5%）、女性が6.1%（前回6.8%）である。男性が高い。

【年代】20歳代は18.4%（前回21.3%）、30歳代15.0%（前回15.4%）である。

《学童思春期》

食事を「ほとんど毎日3食とる」人は、90.7%（前回89.8%）である。

【性別】男性が89.6%（前回89.1%）で、女性が91.8%（前回91.1%）である。

【年代】小学生1～4年96.6%（前回96.6%）小学5・6年92.5%（前回91.5%）中学生91.7%（前回89.9%）高校生は83.8%（前回82.6%）である。

10. 朝食を食べる

ほとんど毎日食べる人は、一般、学童ともに増加した。朝食を時々3食とる、またはほとんどとらない人は20歳代が多い。

《一般》

- (1) 朝食を「ほとんど毎日食べる」人は、83.1%である。(前回77.9%)
【性別】男性が80.6%(前回75.9%)で、女性が85.3%(前回79.6%)である。
【年代】20歳代が最も低く65.7%(前回55.4%)、70歳代は最も高く92.4%(前回86.6%)である。
- (2) 朝食を「時々(週3～4回)食べる」人は、7.4%(前回7.9%)である。
【性別】男性が7.6%(前回8.1%)で、女性が7.3%(前回7.7%)である。
【年代】18・19歳15.7%(前回25.7%)、20代は16.2%(前回21.1%)である。
- (3) 「ほとんど食べない」人は7.1%(前回7.8%)である。
【性別】男性が9.7%(前回10.3%)、女性が4.9%(前回5.6%)で男性が高い。
【年代】20代17.0%(前回19.9%)、30代は13.8%(前回15.4%)である。

《学童思春期》

- 朝食を「ほとんど毎日食べる」人は91.2%(前回90.3%)である。
【性別】男性が90.3%(前回89.7%)で、女性が92.0%(前回90.9%)である。
【年代】小学生1～4年96.4%(前回96.7%) 小学5・6年94.9%(前回92.4%) 中学生91.5%(前回89.7%) 高校生は84.4%(前回83.6%)である。

11. 家族と一緒に食事をする

学童では、全学年ともに前回より増加した。

《学童思春期》

- 家族と一緒に食事を「ほとんど毎日食べる」人は、72.8%(前回71.1%)である。
小学1～4年生は93.1%(前回92.6%)、小学5・6年生は77.9%(前回73.5%)、中学生は66.5%(前回65.1%)、高校生は57.4%(前回54.7%)である。

12. 食べ物

- (1) 牛乳乳製品(チーズ・ヨーグルトなど、コーヒー牛乳は除く)
ほとんど毎日食べる人は、一般・学童とも前回調査より減少した。

《一般》

- 「ほとんど毎日」食べる人は46.9%(前回48.9%)である。男性が40.1%(前回41.5%)で、女性が52.6%(前回55.3%)で女性が高い。20～39歳が最も低く38.6%(前回42.5%)、65～84歳が53.8%(前回54.8%)である。

《学童思春期》

- 「ほとんど毎日」食べる人は58.8%(前回64.4%)である。男性が60.8%(前回65.7%)で、女性が56.6%(前回63.1%)で女性が高い。小学1～4年生は72.1%(前回77.1%)、小学5・6年生が69.0%(前回68.3%)、中学生が59.2%(前回68.5%)、高校生が41.6%(前回47.1%)である。

(2) 甘味飲料（ジュース・乳酸飲料・スポーツ飲料・缶コーヒーなど）

ほとんど毎日飲む人は全体で前回より減少したが、20～39歳は前回より増え、全年代で最も割合が高い。

《一般》

「ほとんど毎日」飲む人は31.3%（前回32.0%）である。男性が39.0%（前回39.7%）女性が24.9%（前回25.4%）で男性が高い。18・19歳52.0%（前回43.6%）20～39歳が44.3%（前回43.3%）、40～64歳が30.5%（前回31.1%）、65～79歳が21.0%（前回22.1%）である。

《学童思春期》

「ほとんど毎日」飲む人は35.4%（前回39.9%）である。男性が39.7%（前回42.7%）女性が30.9%（前回37.0%）で男性が高い。小学生1～4年生が34.4%（前回37.9%）、小学5・6年生が29.9%（前回34.4%）、中学生が32.1%（前回35.6%）、高校生が41.7%（前回48.3%）である。

(3) 甘いもの

ほとんど毎日食べる人は、前回より一般、学童ともに増えた。

《一般》

「ほとんど毎日」食べる人は25.0%（前回16.8%）である。

《学童思春期》

「ほとんど毎日」食べる人は31.8%（前回26.5%）である。

(4) 緑黄色野菜（にんじん・かぼちゃ・トマト・ほうれん草など）

ほとんど毎日食べる人は、学童の全年齢、18・19歳で前回より増えたが、一般の20歳以上の年代は、前回より減少した。

《一般》

「ほとんど毎日」食べる人は44.1%（前回48.7%）である。男性が36.9%（前回41.3%）、女性が50.1%（前回55.1%）で女性が高い。18～19歳は41.2%（35.6%）、20～39歳は39.1%（前回40.6%）40～64歳は41.6%（前回47.7%）65～84歳が51.4%（前回59.2%）である。

《学童思春期》

「ほとんど毎日」食べる人は50.4%（前回46.7%）である。男性が46.5%（前回42.8%）女性が54.4%（前回50.8%）で女性が高い。小学1～4年生が46.9%（前回41.5%）、小学5・6年生44.5%（前回44.7%）、中学生51.8%（前回52.1%）、高校生が55.0%（前回48.3%）である。

(5) 果物

一般、学童とも「ほとんど毎日」「二日に1回」が減り、「週1～2回」「ほとんど食べない」が増えた。

《一般》

「ほとんど毎日」は28.4%（前回30.8%）、「二日に1回」が20.5%（前回23.1%）

「週1～2回」が32.0%（前回29.9%）、「ほとんど食べない」が14.3%（前回8.3%）である。

《学童思春期》

「ほとんど毎日」は31.8%（前回26.5%）、「二日に1回」が29.1%（前回31.7%）
「週1～2回」が34.4%（前回27.3%）、「ほとんど食べない」が10.9%（前回6.7%）である。

13. 栄養成分表示

参考にする人は、一般では全体で前回より増えたが、学童の男性は減少した。

《一般》

栄養成分表示を「参考にする」人は27.7%（前回25.6%）で、男性が17.6%（前回13.3%）で、女性が36.2%（前回36.1%）で女性が高い。

《学童思春期：中学生・高校生》

栄養成分表示を「参考にする」人は12.9%（前回13.4%）男性が9.1%（前回11.5%）、女性が16.9%（前回15.4%）である。

14. 休養

「やや不足している」「不足している」は、学童及び一般の39歳以下が前回調査より減少したが、40歳以上は増加した。

《一般》

「やや不足している」は23.1%（前回23.1%）、「不足している」は5.1%（前回4.9%）である。『不十分群（やや不足している、不足しているをあわせた群）』は28.2%（前回28.8%）である。『不十分群』の男性28.2%（前回27.1%）、女性は28.2%（前回28.7%）である。18・19歳は31.4%（前回32.7%）、20～39歳35.7%（前回38.5%）、40～64歳は34.5%（前回31.2%）、65～84歳が14.2%（前回12.2%）である。

《学童思春期》

「やや不足している」は26.3%（前回31.0%）、「不足している」は4.3%（前回6.6%）である。『不十分群（やや不足している、不足しているをあわせた群）』は30.6%（前回37.6%）である。『不十分群』の男性30.5%（前回35.7%）、女性は30.8%（前回39.6%）である。中学生は28.2%（前回34.7%）、高校生は32.6%（前回39.9%）である。

15. ストレス

一般・学童とも「大いに感じる」人は増加した。

《一般》

(1) 最近1か月間にストレスを「大いに感じる」人は、22.2%（前回19.8%）である。

【性別】男性が19.3%で（前回16.7%）、女性が24.7%（前回22.4%）で女性が高い。

【年代】20～39歳は31.6%（前回30.5%）、40～64歳、25.3%（前回20.0%）、18・19歳19.6%（前回14.9%）、65～84歳は11.3%（前回10.3%）である。

- (2) 「多少感じる」人は、50.4% (前回 45.5%) である。
- (3) 「あまり感じない」人は、20.6% (前回 22.9%) である。
- (4) 「全く感じない」人は、4.2% (前回 5.2%) である。

《学童思春期：中学生・高校生》

- (1) 最近1か月間にストレスを「大いに感じる」が 26.2% (前回 25.2%) である。
 - 【性別】男性が 22.3% (前回 18.4%) で、女性が 30.3% (前回 32.3%) である。
 女性が高い。中学生は 23.1% (前回 22.3%)、高校生は 28.8% (前回 27.5%) である。
- (2) 「多少感じる」が 48.6% (前回 48.9%) である。
- (3) 「あまり感じない」が 19.6% (前回 20.0%) である。
- (4) 「全く感じない」が 5.2% (前回 5.7%) である。

16. ストレス解消 (ストレスを「大いに感じる」人の場合)

一般の全体、学童では、『ストレスを解消できない群』は、前回より減ったが、一般の男性と 65 歳以上の年代は増加した。

《一 般》

「あまり解消できない」人は 52.1% (前回 53.4%) 「全くできない」人は 14.1% (前回 16.3%) である。『ストレスを解消できない群』(あまり解消できない、全くできないをあわせた群)は、66.2% (前回 69.7%) である。男性は 67.4% (前回 64.6%)、女性 65.5% (前回 72.9%) である。18・19 歳は 60.0% (前回 73.3%)、20～39 歳 60.5% (前回 68.5%)、40～64 歳は 68.9% (前回 72.3%) 65～84 歳は 71.1% (前回 64.3%) である。

《学童思春期：中学生・高校生》

「あまり解消できない」人は 40.3% (前回 51.0%) 「全くできない」人 16.6% (前回 19.7%) である。『ストレスを解消できない群』は 56.9% (前回 70.7%) である。男性は 55.3% (前回 72.0%) 女性は 58.1% (前回 70.0%) である。中学生は 57.9% (前回 71.2%)、高校生は 56.4% (前回 70.5%) である。

17. 飲酒

一般の飲む人は、前回より減少し、学童の飲酒経験者も、前回より減少した。

《一 般》

(1) 飲酒の習慣

お酒やアルコール類を「飲む」人は 49.5% (前回 53.1%) である。男性が 65.0% (前回 69.9%) で、女性が 36.5% (前回 38.7%) で男性が高い。

(2) 飲酒の頻度

「ほとんど毎日」は 40.9% (前回 42.6%) である。男性が 52.0% (前回 55.7%) で、女性が 24.2% (前回 22.3%) で男性が高い。

(3) 一日平均の飲酒量

《「飲む」人の場合》

「約3合以上」が 6.6% (前回 6.5%) である。男性が 8.9% (前回 9.0%) で、女性が 3.1% (前回 2.6%) で男性が高い。

《「ほとんど毎日飲む」人の場合》

「約3合以上」が 11.0% (前回 11.9%) である。男性が 12.3% (前回 13.2%) で、女性が 6.6% (前回 6.8%) で男性が高い。

《学童思春期》

「よく飲む」人は0.5%（前回1.5%）である。
「ときどき飲む」人は4.1%（前回6.2%）で、小学5・6年生が1.6%（前回3.4%）、中学生3.2%（前回4.4%）、高校生が9.8%（前回14.9%）である。
「飲んだことがある」は20.1%（前回31.9%）で、小学5・6年生は24.8%（前回35.4%）、中学生は25.5%（前回38.8%）高校生は28.5%（前回47.4%）である。
「飲んだことがない」は74.2%（前回59.5%）である。

18. たばこ

一般の喫煙者は、前回調査より減少し、特に男性の喫煙率が下がった。学童思春期においても喫煙経験者は前回より減少した。

《一般》

たばこを「吸っている」人は18.3%（前回23.9%）である。男性が28.7%（前回40.0%）、女性が9.6%（前回10.1%）で男性が高い。20～39歳が26.1%（前回31.1%）、40～64歳が21.6%（前回27.2%）、65～84歳が9.5%（前回14.2%）である。

《学童思春期》

「吸ったことがある」人は2.8%（前回5.5%）である。男性が3.5%（前回6.6%）、女性が1.9%（前回4.3%）である。小学5・6年生は3.0%（前回3.9%）、中学生は1.6%（前回4.2%）、高校生は6.1%（前回12.2%）である。「時々吸う」人は0.2%（前回0.8%）である。「よく吸う」人は0.4%（前回0.9%）である。

19. たばこの健康影響

一般・学童ともたばこの影響がある病気について知っている人は、前回より減少した。

《一般》

たばこの影響がある病気について知っているものは、高い順から「肺がん」が83.2%（前回88.4%）、「気管支炎」が61.4%（前回65.4%）、「ぜんそく」が56.0%（前回60.2%）、「妊娠に関連した異常」47.6%（前回56.2%）である。

《学童思春期》

たばこの影響がある病気について知っているものは、高い順から「肺がん」が84.8%（前回93.4%）、「気管支炎」が59.2%（前回66.2%）、「妊娠に関連した異常」54.6%（前回67.9%）
「ぜんそく」が51.6%（前回48.0%）である。

調査結果2 ～震災後の生活習慣の変化～

《一般》

1. 栄養・食生活

「変わらない」が最も高く66.4%、次いで「多少悪くなった」が17.8%である。「変わらない」は、全年代とも大きな差はないが、男女差では男性が71.8%、女性が62.0%で男性が高い。「多少悪くなった」「かなり悪くなった」を合わせると22.4%で、最も高い項目は「栄養バランスが悪くなった」、次いで「その他」「食欲・食事量が減った」となる。「その他」の内容は、「食品の選択」「野菜・果物が摂りづらい（福島県産）」「自家製の野菜が食べられない」「家族で別々のものを食べている」などがあげられている。

2. 身体活動・運動習慣

「変わらない」が最も高く61.5%、次いで「多少減った」が18.2%である。「変わらない」は、30代が51.7%であるが、70代以上が65.6%である。男女差では男性が63.8%、女性が59.6%である。「多少減った」「かなり減った」を合わせると29.3%で、最も高い項目は、「ウォーキング・散歩」、次いで「庭の手入れ・草むしり」「自転車・サイクリング」となる。

3. 休養・睡眠

「変わらない」が最も高く67.3%、次いで「多少悪くなった」が19.7%である。「変わらない」は、40代が60%であるが、60代は70%である。男女差では男性が72%、女性が63%である。「多少悪くなった」「かなり悪くなった」を合わせると24.3%で、最も高い項目は「ストレスを感じる」、次いで「疲れる」「眠れない・睡眠不足」である。

4. 飲酒

「変わらない」が最も高く45.2%、次いで「もとから飲まない」が34.5%である。「やめた」「減った」をあわせると9.9%、「増えた」は4.2%である。

5. たばこ

「もとから吸わない」が最も高く58.2%、次いで「変わらない」が22.6%である。「やめた」「減った」をあわせると8.7%、「増えた」は2.2%である。

《学童・思春期》

1. 震災後の生活の変化の有無

「ある」は、28.2%、「ない」は68.3%である。

男性は「ある」が26.4%、女性は30.1%で女性が高い。「ある」で最も高いのは、小学5・6年生で48.5%、次いで小学1～4年生30.8%、中学生24.1%、高校生19.3%である。

「ある」の内容では、男性は「イライラして乱暴になる」が最も多く、次いで「何となく落ち着かない」「何となくからだがだるい」である。女性は、「何となく落ち着かない」が最も多く次いで「イライラして乱暴になる」「悲しいこと、怖いことを思い出す」である。

小学1～4年生は「イライラして乱暴になる」が最も多く、次いで「何となく落ち着かない」である。小学5・6年生は「悲しいこと・怖いことを思い出す」が最も多く、次いで「何となく落ち着かない」である。中学生、高校生は「何となく体がだるい」が最も多く、次いで「何となく落ち着かない」である。

2. 栄養・食生活

変化が「ある」は13.9%、「ない」は83.7%である。

男性は「ある」が12.8%、女性は15.1%で女性がやや高い。「ある」で最も高いのは、小学1年～4年で20.0%、次いで小学5・6年生18.9%、高校生は10.2%、中学生は9.0%である。「ある」と回答した内容をみると、「栄養バランスが悪くなった」が最も多く、次いで「その他」、「おやつが増えた」、「外食が増えた」である。その他の内容では、「福島産が食べられない」「放射線が心配で食べていいかわからない」「食事を抜く」「量が増えた」「量が減った」などがあげられた。

3. 活動・運動

変化が「ある」は、49.0%、「ない」は48.5%である。

男性は「ある」が46.3%、女性は51.9%で女性が高い。「ある」で最も高いのは、小学1年～4年で81.4%、次いで小学5・6年生61.1%、中学生36.3%、高校生は24.9%である。

「ある」と回答した内容をみると、「外遊び」最も多く、次いで「外の活動」「球技」「水泳」である。